

町民が参加する町づくりを提案しつづけています。

市町村の憲法といわれる町づくり基本条例が必要です。

- ♣ 地域の偉い人だけが町づくりに参加するのではなく、子どもも、若い人も女性も、ハンディキャップのある人も町づくりに参加できるシステムをつくりましょう。すべての住民が町づくりに参加できる制度づくりを提案。
- ♣ 重要なことは、町民も決定に参加できる住民投票が必要です。

女性の町政参加を提案し続けています。

♥ 女性の教育委員誕生です。[2003年10月～]

発言し続け12年です。教育委員選任議案があるたびに、町長になぜ、女性を選任しなかったのかと質疑していました。

♥♥ 女性の農業委員が活躍しています。

議会推薦の農業委員を決めるとき、女性の方2名にお願いしたいと主張し、議員のみなさんの賛同をえました。

女性の農業者の方が活躍しています。他の町村にも女性農業委員を選任することが広がっています。

♥♥♥ 議会特別委員会で男女平等参画条例案を策定しました。

議員9名で条例案(町の法律)をつくることができました。

公式に議会が町民の方と話し合う機会をもちました。

若い人・中高生・こどもが町政に意見する場がありません。

子どもにかかわることは、子どもが意見できる制度が必要です。

♦ 高校生や若い人の意見を聞く工夫も必要です。

♦♦ 議会の男女共同参画推進特別委員会で、大妻嵐山高校の生徒会の役員の方と話し合う機会をもつることができました。



このままで、東松山市をのぞいた3町3村[小川町・嵐山町・滑川町・都幾川村・玉川村・東秩父村]が住民投票なしで平成17年3月に合併です。

嵐山町企画課長が3町3村合併事務局長として就任します。

事務局は池の入り環境センター(嵐山町志賀)にあります。

？ 市町村合併は、決定過程がわからず不信感がつのります。

？？ 5月19日、議会多数派会派会長より、東松山市をのぞく合併を推進するので賛成をという連絡が岡野璃恵子議員にあり、議員の一部が裏で動いていることが判明。

？？？5月21日滑川・嵐山町長は議員の賛同が得られないと発言。任意合併協議会解散。

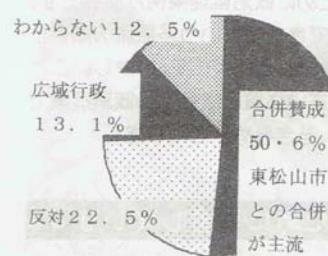


市町村合併は住民投票で進めるのが基本です。

★市町村合併は、町民と議員にすれがあります。

5月21日の比企地域合併協議会を解散する原因になった嵐山町長の発言で嵐山町の多くの議員が合併には賛成だが、東松山市が加わる合併には反対であることがわかります。(アンケート調査では、合併を望む町民は東松山市を含む枠組みを望む人が多く、合併を望む人以外も半数近い)

平成13年市町村合併アンケート



平成13年12月町民アンケート調査

1500人に送付し871人が回答

平成14年9月 嵩山町市町村合併調査

研究委員会発足(町民15名)

平成15年3月3日

比企地域任意協議会発足

平成15年5月21日

比企地域任意合併協議会解散

平成15年6月10日

嵐山町が市町村合併を進めることの

賛否を問う住民投票条例をもとめる直接請求の署名がはじまる。

平成15年7月

嵐山町一部議員による3町3村合併推進協議会発足

3町3村合併研究会(町村長・助役)発足

平成15年8月19日

市町村合併の住民投票条例議案を、嵐山町議会は否決。

私は、合併特例法の期限に間に合わせて、強引に3町3村の合併を進めることに反対します。

